

近畿地方における外来種カミツキガメの捕獲状況について

Capture state of invasive alien turtle *Chelydra serpentina* in Kinki District

○松木崇司(環境省)、西堀智子(和亀)、横田寿男(環境省)、松井正文(京大・人間・環境)

1. はじめに

- 北米原産のカミツキガメは、1960年代から愛玩目的で輸入され、全国各地で飼いつれなくなった個体の遺棄が発生している。
- 現在、千葉県、東京都、静岡県などで野外繁殖が確認されている。
- 生態系被害を受け、外来生物法(2005年6月施行)により輸入、販売、飼育、運搬等を規制。
- 近畿地方で本種の発見があると、環境省近畿地方環境事務所(以下、近畿REO)に通報され、同事務所や和亀保護の会が個体の処分を行うことが多い。
- ※ただし、自治体が独自の処分体制を持つ滋賀県を除く。
- 現状把握と今後の防除対策に資するため、近畿地方における個体の捕獲情報をとりまとめた。

2. 材料と方法

○2007年7月～2013年3月までに近畿REOに通報があった個体の捕獲情報(※滋賀県を除く)

- ・捕獲場所
- ・捕獲時期
- ・性と体長
- ・餌



- 幼若個体の骨切片法を用いた年齢査定
- 処分費用の試算(業務発注した場合)

3. 結果と考察

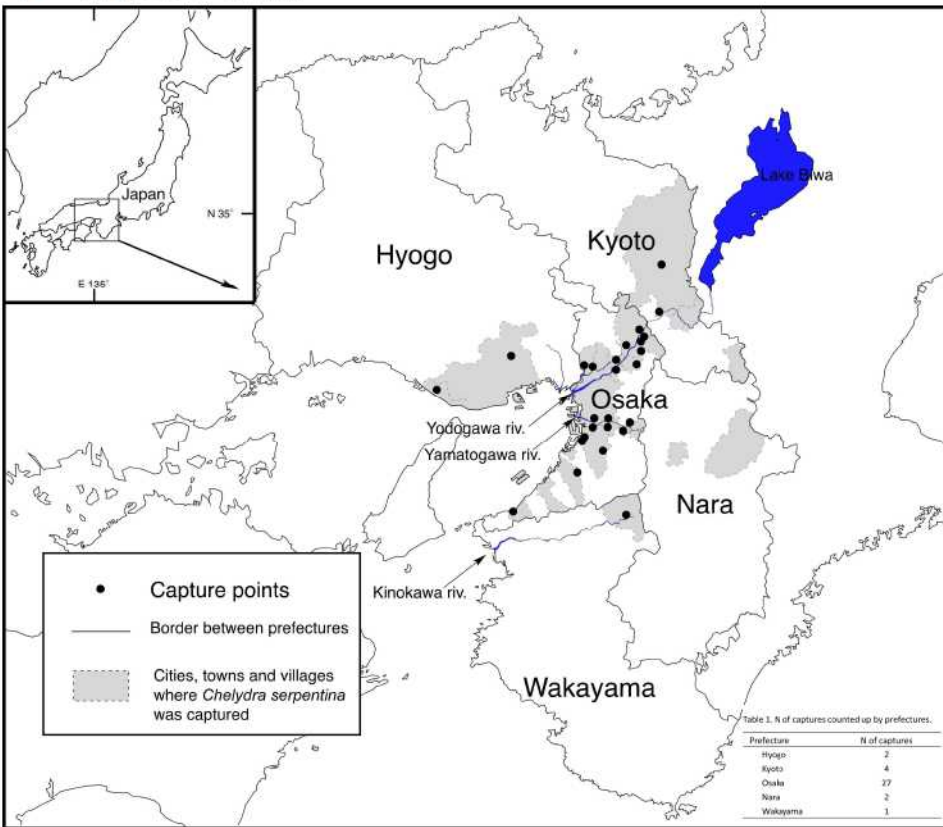


Fig. 1 近畿5府県におけるカミツキガメの捕獲状況(2007年7月～2013年3月)。黒の点が捕獲地点、灰色に塗られた部分は、捕獲のあった市町村を示す。

- 大阪府における捕獲が最多の27件(Fig. 1, Table 1)で、都市部の河川(淀川、大和川水系)や、それらに接続する池での捕獲が多いが、住宅に遺棄された事例もあった。
- 6月、5月、10月順で捕獲が多く(Fig. 2)、近畿における主な活動時期は5月から10月の間であると推定される。
- 性比はほぼ半々であり(Fig. 3)、自然下で繁殖可能な状態と考えられる。
- 体サイズ(計測できた個体のみ)
 - 背甲長の平均値±2SE = 267±25mm (N=26, 範囲:143-391mm) (Fig.4)
 - 体重の平均値±2SE = 6057±2011g (N=17, 範囲:605-16200g)
- 淀川で捕獲された最小個体の年齢査定を実施した結果、2本の成長停止線が見られた(Fig. 5)。この個体は2歳と推定され、違法に飼育・遺棄されたか、自然下で生まれた可能性がある。
- 捕獲個体の糞からは、鳥類の卵、カメ類の甲板、アメリカザリガニ、植物体等が検出された。
- 試算の結果、1個体当たりの処分費は少なく見積もって34,910円であった(Table2)。

Table 2. Expenses for disposing of *Chelydra serpentina*.

費目	作業内容	金額	備考
人件費	カメの引取・運搬・冷凍	¥556,800	作業員2名、半日、36回
	冷凍個体の処分	¥23,800	作業員1名、半日、2回
旅費(日当)	カメの引取・運搬・冷凍	¥61,200	作業員2名、半日、36回
	冷凍個体の処分	¥1,700	作業員1名、半日、2回
燃料・燃料費	カメの引取・運搬・冷凍	¥89,536	36か所(1.5Lドライブン使用)
	冷凍個体の処分	¥1,732	ごみ処分場1か所、2回(1.5Lドライブン使用)
高速道路料金	カメの引取・運搬・冷凍	¥56,100	
焼却処分費		¥1,962	大阪市の規定(90円/10kg)
諸経費		¥163,925	直接経費の15%を想定
合計		¥1,256,755	税抜
1個体当たりの処分費		¥34,910	(合計)/36個体

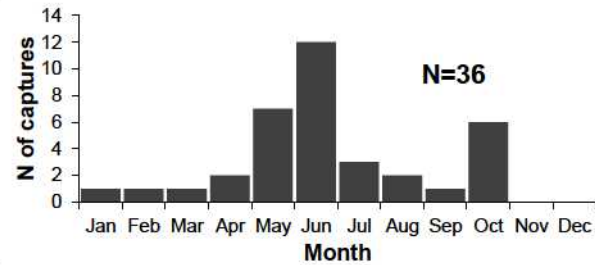


Fig. 2 月別の捕獲数。2007年から2013年までの記録を合算した。

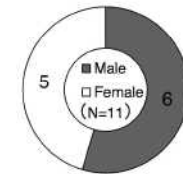
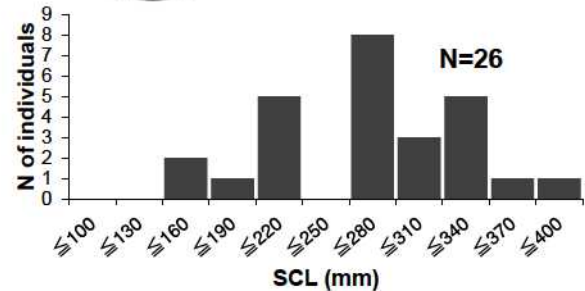


Fig. 3 外部形態から雌雄を推定できた個体の性比。



↑ Fig. 4 背甲長(SCL)の分布。

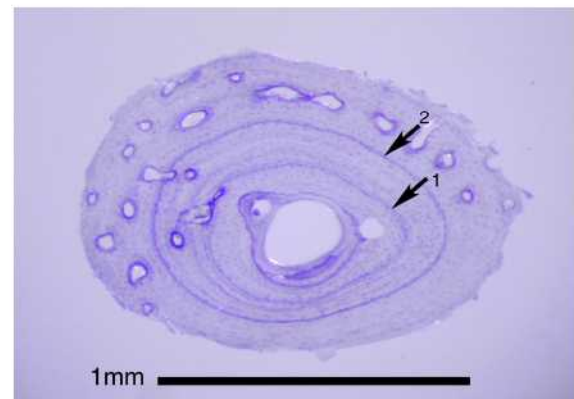


Fig. 5 左後肢趾の切片(ヘマトキシリン染色)。

4. まとめ

滋賀県を除く、近畿5府県の特定期外來生物(外來生物法による)カミツキガメの捕獲情報を整理した。市街地の河川(特に大阪府)を中心に雌雄とも多数の個体が確認されており、自然下での繁殖が可能な状態と考えられた。2歳と推定された個体は、野外で生まれた可能性がある。自然繁殖による本種の個体数増加により、生態系被害及び分布の拡大、処分費の増大等が懸念されることから、行政や市民団体が連携して、監視と防除を強化する必要がある。